

Case Study

支部ケース・スタディ

南関東支部

『YCVグリーンファーム』 ～ともに楽しむ野菜づくりで、お客さまとの新たな関係を～

横浜ケーブルビジョン(株)

経営管理部
川渕 由美子



“地域いきいき、暮らしわくわく”をスローガンに

横浜ケーブルビジョン(株)(以下、YCV)は、“地域いきいき、暮らしわくわく”という企業スローガンの下、より地域に密着した企業としての認知度向上のため、さまざまな取り組みを行っています。

その一つが、「ともに育て、ともに楽しむ」をコンセプトに、地域のお客さまと野菜づくりを行う『YCVグリーンファーム』です。

図表1：YCVグリーンファームのコンセプト



『YCVグリーンファーム』は、首都圏を中心に市民農園事業を展開する(株)アグリメディアと提携し、サポート付き市民農園「シェア畑 横浜鶴ヶ峰」内に専用農地を借りて2014年に開園しました。

春夏シーズン、秋冬シーズンそれぞれ、ホームページやチラシで参加者を募集し、植付けと収穫を体験いただけます。YCVのエリア内にお住まいの方であれば、YCVのサービスに加入していない方でももちろん応募が可能です。

参加者は、小さなお子さまのいるファミリー層が一番多いですが、お孫さんに自分の作った野菜を食べさせたというシニア世代の方や、友達を集めて野菜パーティーをしたいという若いご夫婦など、応募動機もさまざまです。地域の皆さまの関心も高く、現在は募集をはるかに上回る応募があるため、抽選にて参加者を決定しています。

春夏ではトマトやきゅうり、ナス、ピーマン、オクラなど、秋冬ではキャベツ、白菜、かぶ、大根、小松菜などそれぞれ5～6種類の野菜を植えています。植付けと収穫を当社主催のイベントとして行い、収穫のときには採れたて野菜を使ったカレー、豚汁などをYCVの社長ともども社員にて準備し楽しんでいただいています。



住民参加によるYCVグリーンファームでの野菜作りの様子

コミチャンで野菜の生育状態を発信、来園頻度向上へ

基本的に、植付けと収穫のイベント以外の来園は自由としています。必要な野菜の手入れは、アグリメディアとYCVの社員で適宜行いますので、極端に言えば、参加者は植付けいただくだけで、数カ月後には無農薬の新鮮野菜を手にすることができます。

植付けと収穫だけでも参加した方の満足度は高いのですが、それだけでは本当の意味での野菜づくりの楽しさをお伝えできていませんし、せっかく出会えたお客さまとの関係性を育てることもできません。必要な農具はすべて農園に揃っており、参加者は軍手だけの準備で気軽に野菜の手入れを体験できるのですが、虫取りなどの地味な作業にはなかなか興味を持っていただけないのが実情でした。

しかし、蒔いた種から芽が出たのを発見したときのうれしさや、実からは想像できない野菜の花のかわいらしさなど、足を運んでこそ味わえる貴重な瞬間をぜひ参加者にも体験してほしい。そんな思いから、開園2年目となる今年は、生育状態の情報発信により力を入れるようにしました。

コミュニティチャンネル内で定期的にお届けするほか、一斉配信ではなく、個人の区画ごとの写真を添付した個別宛のメールを送信。作業の方法や実際にYCVの社員が作業をしてみて発見したことやおもしろかったことなどもあわせてお送りし、興味を持ってもらえるように工夫しました。うれしいことに、今年の秋冬シーズンでは、情報発信を重ねるごとに参加者の来園頻度が上がっていきました。



また、実際に畑を訪れたあと感想を寄せてくださる参加者もいて、野菜の出来に関する楽しいやりとりが断続的に続くケースもありました。

野菜づくりという共通体験を通して「地域の仲間」に

そのような関係性が築かれていった結果、イベントの前に「がんばってください！」という励ましのメールをいただいたり、この企画を手伝いたいと言ってもらったり、当初想定していたブランドイメージやCS向上以上の効果があったように感じています。素人同士の野菜づくりという共通体験で、ある意味で会社とお客さまという枠組みを越えた「地域の仲間」としての触れ合いが生まれ、より身近な存在としての結びつきを強めることができたのかもしれない。

『YCVグリーンファーム』は、土地を所有されている地域の地主さんはその有効活用になり、アグリメディア社は自園の契約者増に繋げ、お客さまとYCV社員も共に野菜づくりで感動や楽しみを共有することができる、良いことづくめの取り組みです。また、参加者をご加入者の場合、全ての方々にYCVサービスをその後も継続ご利用いただいています。

来年度以降は、植付けから収穫までの間の畑での出来事もイベント化し、参加者の方々と今以上の交流ができたらと考えています。虫取りひとつとってもお子さまには喜んでもらえるでしょうし、野菜ができるまでのひとつひとつと一緒に体感していけるような、より魅力あるイベントを企画していく予定です。

そして、茎や葉っぱがすすくすすく育つさまと一緒に喜んだり、鳥害や悪天候と一緒に心配したりすることで、参加者とYCVの社員との間に、自然と「地域の仲間」としての関係性が育っていく。そんな場として、今後もYCVグリーンファームを盛り上げていきたいと思えます。



YCVと加入者が「地域の仲間」として触れ合えるYCVグリーンファーム